

〔日薬理誌, 76, 117 (1980)〕

新 SH 化合物 2-mercapto-2-methylpropanoyl-L-cysteine (SA-96) の
薬理学的研究 (第 1 報) —抗リウマチ作用に関する検討—

藤村 一*, 平松保造**, 田村洋平**, 柳原雅良**, 江田
昭英, 永井博弐, 宇田弘三***, 磯 正***, 山内秀泰***

Pharmacological studies of new sulfhydryl compounds 2-mercapto-
2-methylpropanoyl-L-cysteine (SA-96). I. Evaluation of anti-rheu-
matic action.

HAJIME FUJIMURA*, YASUZO HIRAMATSU**, YOHEI TAMURA**,
MASAYOSHI YANAGIHARA**, AKIHIDE KODA, HIROICHI NAGAI,
KOZO UDA***, TADASHI ISO***, HIDEYASU YAMAUCHI***

新しく合成された SH 化合物の 2-mercapto-2-methylpropionyl-L-Cysteine (SA-96) は, 経口投与によって D-penicillamine (D-PA) と同様にラット adjuvant 関節炎に対して明らかな予防ならびに治療効果を示した。しかし, その効果は投与量に依存せず, SA-96 の至適投与量は 10mg/kg/day であった。一方, 種々の急性炎症および亜急性炎症モデルに対しては, SA-96 および D-PA はステロイド性あるいは非ステロイド性抗炎症薬と異なり, ほとんど影響を与えなかった。SA-96 および D-PA は, いずれも羊赤血球で免疫したマウス脾臓の hemolytic plaque forming cell 産生を増加し, 免疫促進作用を示した。たま, *in vitro* でも SA-96 はリウマトイド因子陰性化作用, コラーゲナーゼ阻害作用を示した。

以上のように, SA-96 の作用態度は D-PA と極めて類似しており, ラット adjuvant 関節炎を特異的に抑制するので, 臨床的に抗リウマチ作用が期待できるものと思われる。

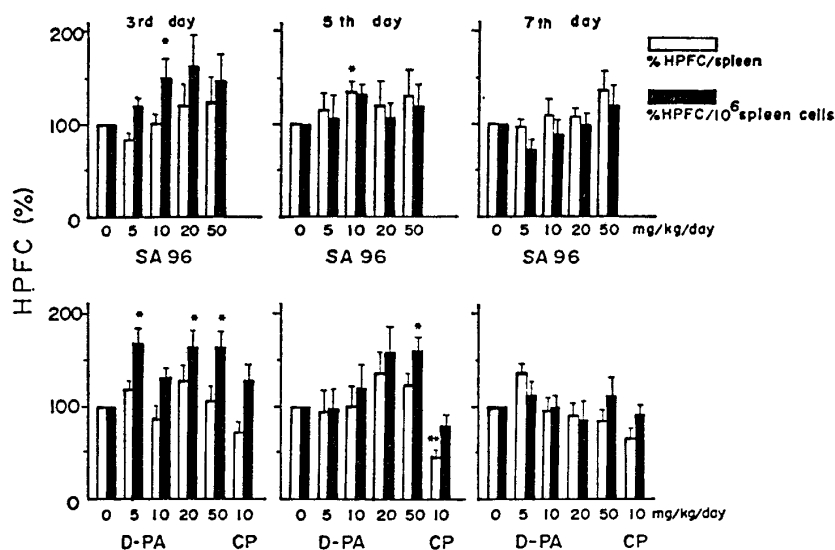


Fig. Effect of SA96, D-penicillamine (D-PA) and cyclophosphamide (CP) given i.p. on HPFC formation in mice immunized with SRBC. Values are the mean \pm S.E. of 6 mice. *, $p < 0.05$, **, $p < 0.01$ when compared with controls.

* 岐阜大学医学部

** 生産開発科学研究所

*** 参天製薬